

- (I) (A)
- (II) 利便性の追求によって市場の寡占化が進むということ。(25 字)
- (III) 私たちを自由にするために生み出されたにもかかわらず、利便性は私たちが進んでやりたいと思うことを制約し、結果として知らず知らずのうちに私たちに隷属させる可能性がある。
- (IV) 特権階級だけでなく、一般大衆も自己修養の自由を享受できるようになったということ。(40 字)
- (V) (ア)
- (VI) 最初の利便性革命が生活や仕事を容易にすることを約束したとすれば、二回目の利便性革命は自己の主体性の確立を容易にすることを約束したのである。
- (VII) 背景画像として浜辺や山脈の写真のうちどれを選ぶかというようにごく表面的な個性の発現を除き、私たちはフェイスブックのフォーマットと規約によってすべてを奪われている。
- (VIII) 利便性を追求した結果、私たちは個性を失い、均質的な生活を送りがちであり、自分の人生に意味を与えてくれる困難や課題を克服する経験が奪われている。そこで、不便さを甘受することによって、世界や世界における自分の立ち位置を認識することができるから。
(120 字)
- (IX) If we don't spend time interacting with each other, we are at risk of losing something that is essential to human experience.